

# 陸上の県高校総体 男子砲丸投で優勝 赤穂3年 藤原颯太君



陸上の兵庫県高校総体(5月27〜29日、神戸ユニバー記念競技場)男子砲丸投で赤穂3年の藤原颯太君(17)は六百目町IIが自己ベストを25㍍更新する15㍍04で優勝。6月16日に開幕する近畿総体に出場する。

決勝は1投目で「練習でも投げたことがない」という自身初の15㍍台をマーク。「すごく緊張した中、しっかりと最後まで押し切れた。自分の感覚以上に砲丸が飛んでいった」と振り返る1投で2位に35㍍の差をつけ、昨年大会で優勝した1学年上の京増来都君に続

き、赤穂勢の同種目連覇を達成した。

昨夏の県ユースを13㍍72で制し、冬場は筋力トレーニングとフォーム改良に取り組んだ。以前は60㍍程度が精一杯だったベンチプレスで80㍍を持ち上げられるまでにパワーアップ。スクワットで足を鍛えてフォームが安定し、スムーズな体重移動につながった。

身長176㍍、体重72㍍の体格は砲丸投の選手としては決して大きくはないが、スピードと技術でカバー。肥塚直樹顧問(60)は「練習熱心。陸上部でキャプテン、クラスでも委

員長で、周りからの信頼も厚い」と評価する。

藤原君は「近畿大会でさらに自己ベストを出してインターハイに出たい」と意気込む。(写真は男子砲丸投で県チャンピオンになった藤原颯太君)